

横浜薬科大学の学生が横須賀病院で研修

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木功順3等陸佐）は、6月5日（水）自衛隊横須賀病院（横須賀市田浦港町）の協力を得て、横浜薬科大学（横浜市戸塚区）5年生5名の病院研修を支援した。

横須賀病院では、薬剤官から病院での恒常業務や幹部自衛官としての業務、教育訓練などの概要説明を受けた後、院内の薬局等を見学して実際の勤務環境を確認した。

見学後の懇談では、参加者から、採用試験のことや「幹部自衛官任官後は何に努力を傾注すべきか」、「武器訓練や戦闘訓練等、初めてのことと誰でも対応できるのか」、「泳げない人も泳げるようになるのか」などの様々な質問が出され、予定時間を超えて質問や個別相談が続くほど活発な意見交換が行われた。特に、女性の参加者は、産休・育休の制度や実際に取得した経験談に興味を示し、子育てと仕事の両立への関心の高さを感じた。

また、懇談の最後には、薬剤官が「医療機器の管理やメンテナンス等、医療の安全管理の中心となる役割を担う人も多く、薬学部ではほとんど学ぶ機会がなかったことにもチャレンジしていくことができる。いろいろなことにチャレンジしたい方には最適な職場です」と自衛隊の薬剤官の魅力をアピールした。

上大岡募集案内所は、「今後も学校との連携を深め、多くの学生・生徒や教職員に自衛隊の魅力伝えていきたい」としている。



部活動応援企画「ジョイトレ」を実施

自衛隊神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 新妻昌晋1等陸尉）は、6月22日（土）、海上自衛隊送球会の支援を受け、高校生に対する部活動応援企画「ジョイトレ（ハンドボール部）」を実施した。6回目となる今年度は、「相模田名高等学校」、「厚木北高等学校」に新たに「相模原弥栄高等学校」も加わり、3校から生徒59名と教諭4名が参加してくれた。

当日、海上自衛隊横須賀地方総監部（横須賀市西逸見町）の体育館では、3校の生徒をはじめと海自送球会の選手や今回初参加の防衛大学校女子チームの20名など、総勢約100名が約3時間にわたり練習試合などで一緒に汗を流した。また、練習後には、相模原地域募集相談員会からの激励品贈呈と記念撮影を行い、昼食後には護衛艦の見学も実施した。

生徒からは、「今回2回目ですが、昨年同様に充実した練習ができ、何よりも自衛隊員の方と一緒に練習ができとてもうれしかったです」、「普段実施したことのない練習で勉強になりました」、「海上自衛官の日常の様子を見たいと思いました」などの感想が聞かれ、教諭からも「普段とは違う環境で練習でき、様々な方と交流できたことは、今後の人生に大きな財産になると思います」、「今後は、練習と体験入隊を組み合わせたイベントを希望します」と言ってもらえた。

相模原地域事務所は、「引き続き学校部活動との「ジョイトレ」を推進し、自衛隊の活動を積極的にアピールしていきたい」としている。

